日立太陽光発電システム

HITACHI
Inspire the Next

工事説明書

販売店・工事店様用

お願い
- この工事説明書は、取扱説明書、保証書とともに必ずお客様にお渡しください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。

品名 **接続箱**

型式 **HSS-B40E**（エイチエスエス ビー イー）・**HSS-B60E**（エイチエスエス ビー イー）

安全のため必ずお守りください

取付工事を始める前に必ずこの工事説明書をお読みになり、正しく安全に取り付けてください。
取付工事は販売店・工事店様が実施してください。（第２種電気工事士の資格必要）
当社製パワーコンディショナとの組み合わせでご使用ください。
施工終了後は、工事完了報告書に従って確認を行ってください。
転居の際に、取り外し、取り付けする必要がありますので、この「工事説明書」は、「取扱説明書」、「保証書」とともにお客様に大切に保管いただくようにしてください。

ここに示した注意事項は、

表示内容を無視して誤った使いかたや設置や工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

「警告や注意を促す」内容のものです。

してはいけない「禁止」の内容です。

実行しなければならない「指示」内容のものです。

⚠警告

感電防止

●太陽電池アレイケーブル間には高電圧が発生しているので、特に手や身体がぬれた状態での作業は行わない
感電のおそれがあります。

●次のようなところに取り付けない
- 雨水のかかるところ
- 湿気の多いところ
- 湯気、水蒸気のあたるところ
- 冷気が直接あたり結露するところ

●電気配線工事は太陽電池アレイを光をさえぎるもので覆った状態で行う
感電のおそれがあります。

●低圧用ゴム手袋を使用して電気配線作業を行う
感電のおそれがあります。

●配線工事中及び運転開始までは、接続箱の全ての太陽電池開閉器を「OFF」の状態にして行う
感電のおそれがあります。

●電線は端子を正しく圧着し、指定トルクで確実に締め付ける
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

●製品質量に耐えるよう強固な壁面に確実に取り付ける

取付工事をされる方へのお願い

●太陽電池アレイの＋側ケーブルと－側ケーブルは絶対にショートさせないでください。スパークによるケーブル過熱が発生し、場合によってはケーブルの被覆が溶けて使用できなくなることがあります。

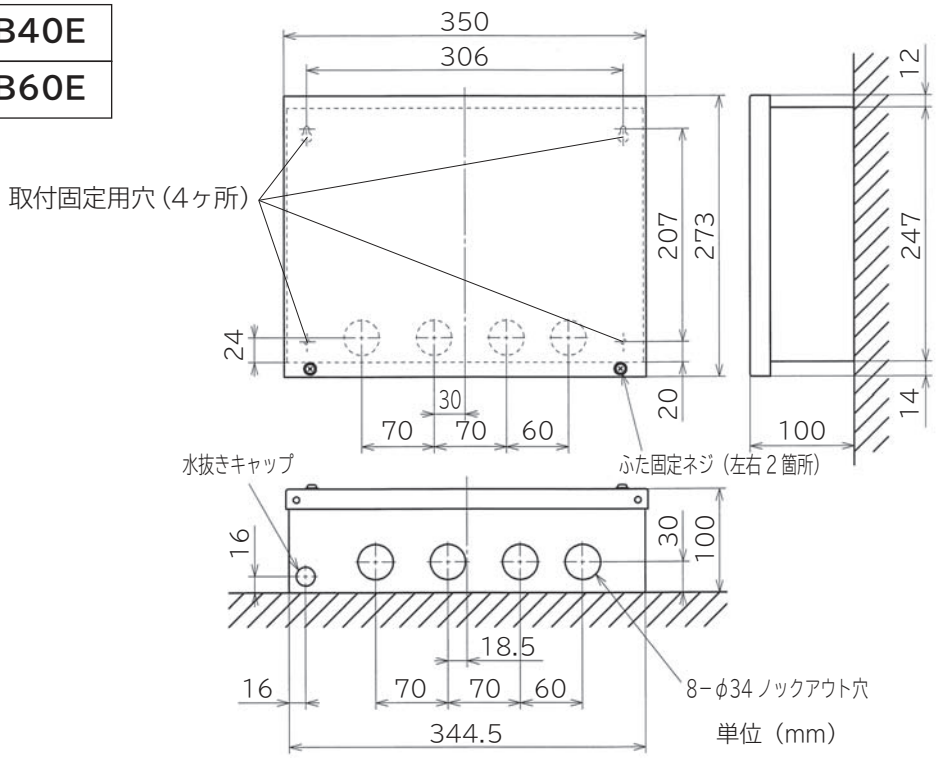
●取り付け場所について下記の条件を守ってください。

- メンテナンス時に脚立などで容易に作業できる高さで作業空間の確保できる位置に取付けること
- 箱など密閉された空間には取り付けない
- 日本国内で標高1500m以下であること
- 油蒸気、煙、じんあい、塩分、腐食性物質などが存在しない雰囲気であること
- 下記の温・湿度条件を満たしていること

周囲温度	－10℃～＋40℃
相対湿度	規定しないが結露なきこと
取付場所	屋内壁面、直射日光が当たらない、かつ、軒下などの雨のかからない屋外壁面（防水処理必要）

取付寸法と外形寸法図

HSS-B40E
HSS-B60E



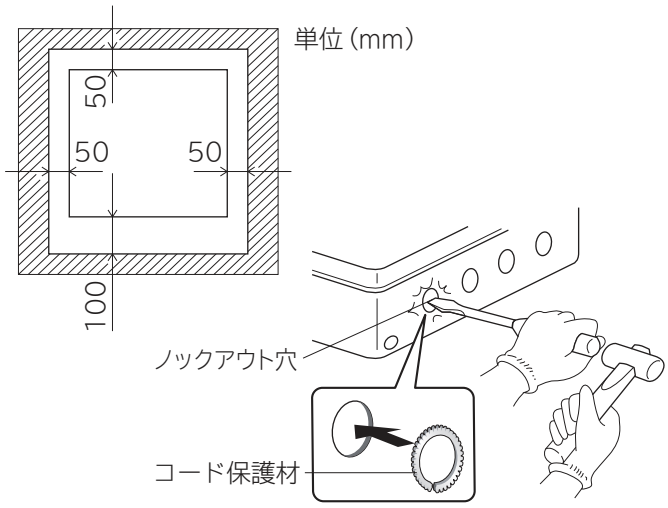
付属部品	個　数	
	HSS-B40E	HSS-B60E
木ねじ　4.5－32	4	4
コード保護材	4	4
圧着端子（板形）　CV2mm²用	8	12
圧着端子キャップ　CV2mm²用	8	12
圧着端子（丸形）　CV8mm²用	2	2
圧着端子キャップ　CV8mm²用	2	2
太陽電池開閉器用端子カバー	4	6

取付方法（屋内への取り付け）

●接続箱は屋内取付をおすすめしますが、屋外（直射日光が当たらない、かつ、軒下の雨がかからない壁面に限る）に取り付ける場合は下記に従って必ず防水処理を行ってください。
●接続箱へのケーブル配線は背面と下面のいずれか（外形寸法図のノックアウト穴）から行うことができます。

取り付け前の準備

①スペースを確保する
接続箱の周囲には、右図に示すようなスペースを確保してください。
②壁を補強する
壁の強度が不足する場合は、補強板等で壁を補強してください。
③ノックアウト穴を開ける
取付位置を決め、使用するノックアウト穴をあけてください。（ノックアウト穴は、マイナスドライバーの先を当ててハンマーでたたいてください）
④付属のコード保護材をはめ込む
ノックアウト穴に付属のコード保護材をはめ込んでください。
⑤穴位置を決めて穴をあける
接続箱を取付壁面にあてがい、ケーブル配線の穴位置を決めて穴をあけてください。（背面配線の場合）



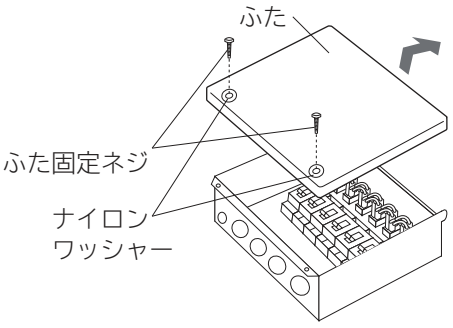
接続箱の取り付け

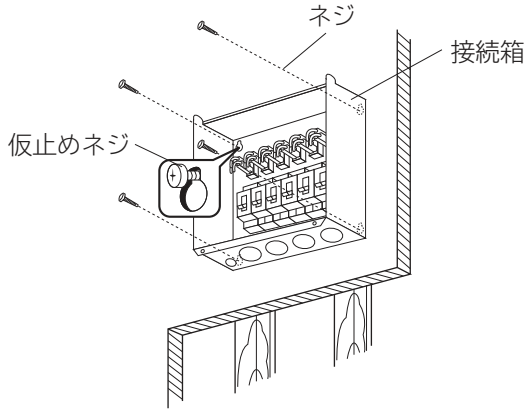
1 ふたを取り外す
下側のふた固定ネジ2本を外し、ふたを取り外してください。

2 接続箱を仮止めする
壁面の接続箱背面上部の位置決め用穴（1ヶ所）に仮止め用のネジを打ち接続箱を引っかけてください。

3 固定する
他の固定用穴（3ヶ所）をネジ止めして固定してください。はじめに仮止めしたネジも締め付け固定してください。

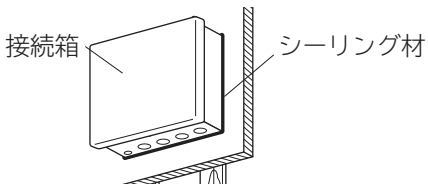
4 ふたを取り付ける
ふたを元通りに閉めてください。





屋外へ取り付ける場合（ただし、直射日光が当たらない、かつ、軒下の雨のかからない壁面に限ります）

接続箱を取り付けた後、接続箱と壁面の接する外周部全周にシリコーン系シーリング材を塗布し防水処理を行い、背面に水が入らないようにしてください。

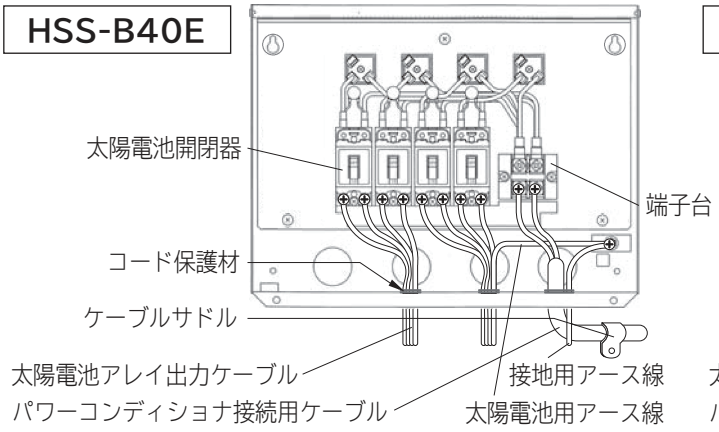


電気配線工事

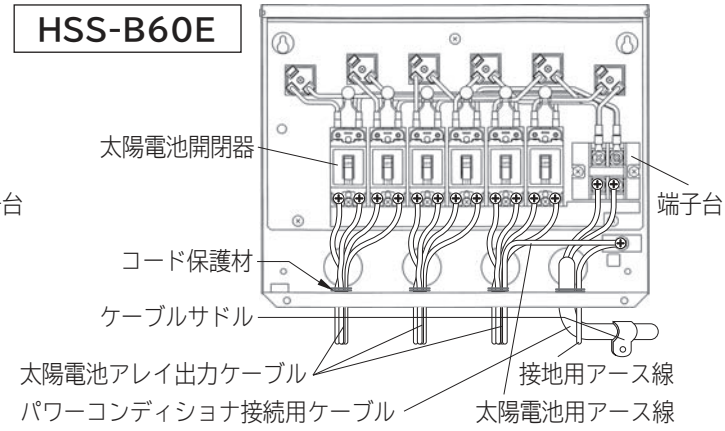
⚠警告

- **電線は端子を正しく圧着し、指定トルクで確実に締め付ける**
  取り付けが不完全な場合、接触不良により火災のおそれがあります。
- **配線工事中および運転開始までは、分電盤の太陽光発電用ブレーカと接続箱のすべての太陽電池開閉器を「OFF」の状態にして行う**
  高電圧の発生により感電のおそれがあります。

HSS-B40E



HSS-B60E



太陽電池アレイ出力ケーブルの接続

1 開閉器のP側に接続する

各太陽電池アレイ系統の出力ケーブルの＋側ケーブル（黒色）に、付属の圧着端子（板形）とキャップを付け、接続箱のコード保護材を通して太陽電池開閉器のP側に接続してください。

締付トルク：1.8～2.0N･m

2 開閉器のN側に接続する

同じ太陽電池アレイ系統の出力ケーブルの－側ケーブル（白色）を太陽電池開閉器のN側に接続してください。

- 各ケーブルの＋側、－側の極性を誤って接続した場合は、太陽電池アレイの出力をパワーコンディショナに供給できません。

締付トルク：1.8～2.0N･m

3 接続を完了させる

1系統ずつ圧着端子（板形）とキャップを取り付け、接続箱の各開閉器への接続を完了させてください。

4 端子カバーを取り付ける

各開閉器に太陽電池開閉器用端子カバーを取り付けてください。

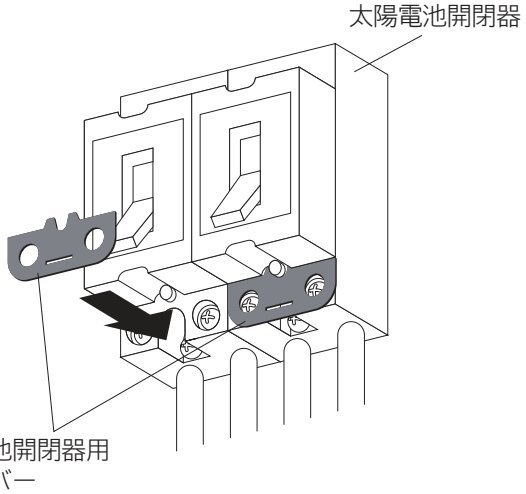
パワーコンディショナ接続用ケーブルの接続

1 端子台（N･P）に接続する

端子台のカバーを外し、市販のパワーコンディショナ接続用ケーブルをパワーコンディショナ入力端子台（N･P）に接続してください。ケーブルの＋側（黒色）、－側（白色）に付属の圧着端子（丸形）とキャップを取り付け、コード保護材を通して端子台のPに＋側、Nに－側を接続してください。

締付トルク（HSS-B40E）：2.0～2.4N･m
（HSS-B60E）：2.5～3.0N･m

ケーブルの接続が終わったら、端子台のカバーを取り付けてください。



アース線の接続

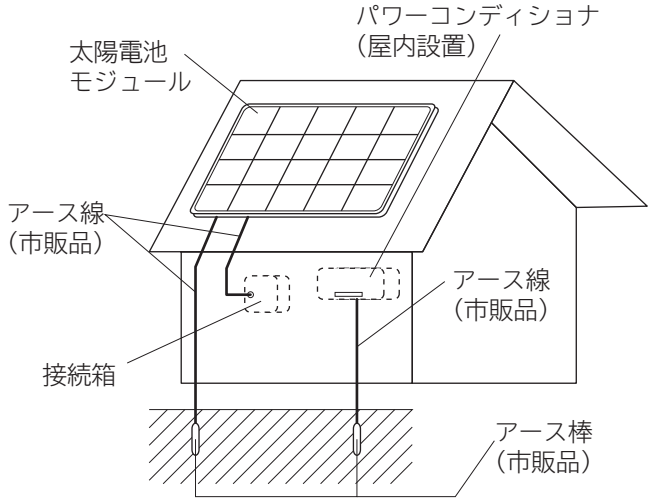
1 アース線を接続する

- 全て接続後、締め付けと極性を再確認してください。
- アース線を接続箱のアース用端子に接続してください。

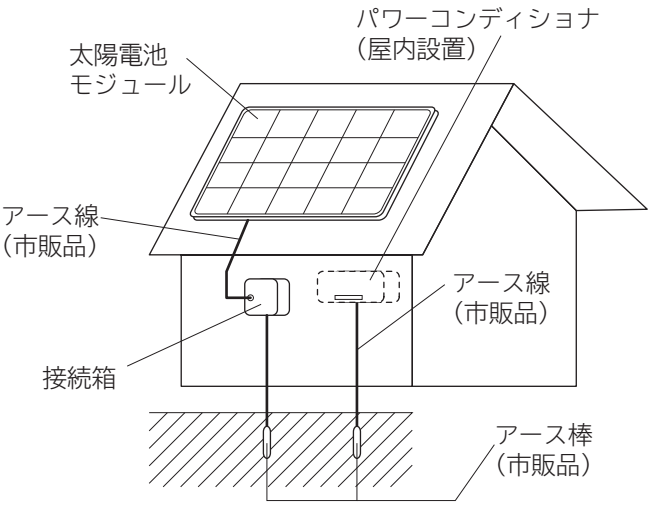
太陽電池側で接地工事がされない場合は市販のアース線HIVまたはIV5.5mm²（緑色）を接続箱に配線し、そのアース線に市販のアース棒を取り付け、D種接地工事の基準に従って工事を行ってください。（最大入力電圧がDC300Vを超える場合はC種接地工事）

締付トルク：1.8～2.0N・m

接続箱が屋内にある場合



接続箱が屋外にある場合



接続箱のふたの取り付けと外側の配線の処理

1 ふた固定ネジを締め付ける

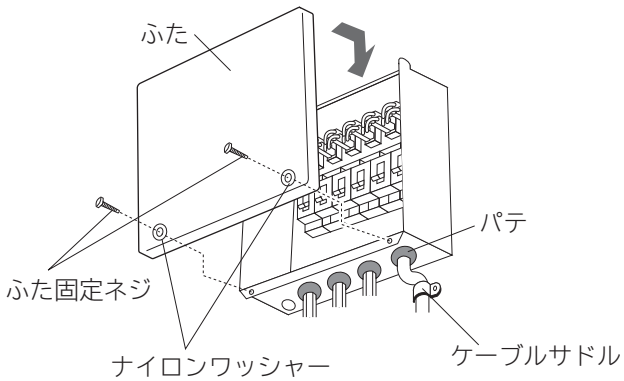
ふたを閉め、ふた固定ネジで締め付けてください。

2 固定する

下面から配線した場合は、端子台や太陽電池開閉器にケーブルの荷重がかからないよう、市販のケーブルサドル等で固定してください。

3 パテで埋める

配線口をすべてパテで埋めてください。



Memo

Memo

日立アプライアンス株式会社
〒105−8410　東京都港区西新橋 2−15−12　電話 (03)3502−2111